

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」大分大会報告書

- 開催日時 2022年8月7日(日) 10:30~15:30
- 会場 竹田市総合文化ホール グランツたけた (〒878-0024 大分県竹田市大字玉来1番地1)
- 主催 科学の祭典大分大会実行委員会
- 共催 公益財団法人日本科学技術振興財団、NPO 法人大分に科学を広める会
- 後援 文部科学省／大分県教育委員会／竹田市教育委員会／大分工業高等専門学校／国立大学法人大分大学／日本文理大学／全国科学館連携協議会／全国科学博物館協議会／NHK／日本物理教育学会／(一社)日本生物教育学会／日本地学教育学会／日本基礎化学教育学会／(一社)日本科学教育学会／(一社)日本理科教育学会／(一社)日本地質学会／(一社)日本生物物理学会／一般社団法人日本物理学会／(公社)応用物理学会／公益社団法人日本化学会／(一社)日本機械学会／(公社)日本アイソトープ協会／(一財)日本私学教育研究所／(公社)日本植物学会／(公社)日本動物学会／(公社)日本天文学会／(公社)日本工学会／(一社)電気学会／日本エネルギー環境教育学会／大分県PTA連合会／大分県高等学校PTA連合会／OBS大分放送／TOSテレビ大分／OAB大分朝日放送／大分合同新聞社／朝日新聞大分総局／毎日新聞社／西日本新聞社／J:COM 大分ケーブルテレコム／大分県青少年少女発明クラブ連絡協議会／大分に青少年科学館を作る会／大分に科学館を！連絡協議会

■来場者数 約240人

■実施内容

今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策のために、以下のような対策を講じて開催しました。

- ① 密を避けるために、参加者を第1部(午前)と第2部(午後)に分散させる
- ② 参加者はネットからの事前申込制とする
- ③ 密を避けるために、ブースの定員を設定する。定員の目安は長机に2人までとした
- ④ 出展ブース数を例年の半分程度にする
- ⑤ 開催当日の受付前に、実行委員と出展者の抗原検査を実施する
- ⑥ 各ブースでのアルコール消毒を徹底する

開催日直前に感染が急拡大したこともあり、当日の朝にキャンセルが出てしまうという中での開催となりましたが、子どもと保護者を合わせて約240名の参加となりました。参加した子供たちは、とても楽しくて面白かったといいながら帰っていきました。

昨年に続き、自由参加ではなく事前申込となり、出展ブースも16ブースでかなり規模を縮小した大会となりましたが、関係各位のご支援も頂いて無事開催でき、地元竹田市や隣の豊後大野市の小学生を中心に参加した子供たちの「楽しかった」という声を聞くことが出来ました。竹田市から遠く離れた大分市からの参加した子供もいました。

■出展数 16ブース出展

■出展タイトル一覧

- ① 不思議なプロペラを作ろう
- ② ストロー飛行機を作って飛ばしてみよう
- ③ かざぐるまで遊ぼう
- ④ 手作りホバークラフト

- ⑤ コロコロタンク
- ⑥ 衝突する車の衝撃の大きさについて
- ⑦ アーチ型石橋の仕組み
- ⑧ 天体望遠鏡で太陽の黒点を観察しよう
- ⑨ リターン トゥ ブーメラン ベイビー
- ⑩ うちゅうモビルを作ろう！
- ⑪ 顕微鏡でミクロの世界を見てみよう
- ⑫ 日本一のおんせん県の秘密を調べよう！
- ⑬ 起上り子法師
- ⑭ UVチェックビーズでストラップ作り
- ⑮ 星座早見盤を作って星座観察
- ⑯ くるくるアニメーションにちょうせん

- 製作物
- ・実験解説集：B 5 版／表紙 5 色・中 1 色／2 0 ページ／製作部数：2 2 0 部
 - ・ポスター：B 3 版／5 色／製作部数：7 0 枚
 - ・チラシ：A 4 版／表裏 1 色／製作部数：7 0 0 0 枚

■広報活動

[ポスター] 7 0 部印刷し、竹田市、豊後大野市の小中学校に各 1 枚ずつ配布。残りを大分市内公民館等に配布。

[チ ラ シ] 7, 0 0 0 部印刷。そのうち、4, 0 0 0 枚を竹田市、豊後大野市の小中学校に教育委員会を通じて各学校に一人一枚ずつ配布した。残りを大分市内の一部の小学校に配布した。

[その他]

- ・新聞：朝日新聞 7 月 3 0 日（土）の大分版に「お知らせ」として掲載。
大分合同新聞 8 月 4 日週末イベントコーナー「ラーン&プレイ」欄に掲載。
- ・NPO 法人大分に科学を広める会ホームページ <https://www.oita-kagaku.jp/> に募集案内等掲載。